令和４年　神奈川県議会　第１回定例会　厚生常任委員会

令和４年１月 20 日

谷口委員

私からは、２点だけ確認をさせていただきたいと思います。

真ん中のほう、５段落目ですが、その２行目に、なぜ、あなたは周りの人や自分を傷つけるような行動をしてしまうのでしょうかという問いかけがあります。この段落と次の段落が改行されて、しかも１行空いているということで、ぱっと読んだときに、何かこう問いかけて答えを求めているようなイメージにも受け取れます。こういう文章にした意図をまず確認をさせていただけますでしょうか。

障害サービス課長

このくだりについては、障害のある方とのコミュニケーションは難しいという声は、支援現場の職員であっても聞かれることでして、このようなときに、自分の気持ちをうまく表せないだけかもしれない、自分の気持ちを聞いてほしいと訴えているに違いない、こういった心の声に耳を傾けるという支援が大切と、当事者と皆様との対話の中でこうした気づきがあったということで、当事者目線の障がい福祉の大切さを伝えたいという意図で書かせていただいており、上と下は一連の形になっている状況です。

谷口委員

そうであるならば、形式上かもしれないですが、ここは２つの段落に分けるのではなく、行動してしまうのでしょうかと、もうそのままもしかしたらと続けていったほうが、皆様の意図がより伝わるのではないかと思うのですが、いかがでしょうか。

障害サービス課長

委員おっしゃるとおり、より多くの方に県のこの本来の意図を伝えたいということが重要ですので、指摘も踏まえて今後検討させていただきたいと思います。

谷口委員

そこはぜひ検討いただきたいと思います。

もう１点ですが、下から３段落目の施設は終の棲家ではありませんという後の文章ですが、全体的に恐らく主語が、あなたがとか私たちはと、はっきり言っている部分はよく分かるのですが、日本語の特性でもあるのですが、主語を書かなくても分かるでしょうということで、主語が書かれていない文章が多いです。その中で、特にここの終の棲家ではありませんの次の文章ですが、あなたが地域の仲間たちとのつながりの中で暮らしていけるよう、一緒に考え、準備をする場ですとあります。これはそのまま文法的に、文法で解釈すると、一緒に考え、準備するのはあなたと、こうなるのですが、恐らく皆様の意図は、一緒に考えるのは当然県、もしくは施設関係者と当事者の方々が一緒に考えるところ、ここはよく分かります。準備をする場ですというのは、ぱっと読んだときにあなたが準備をする場ですと、このように受け止められるのですが、その辺の意図はどうなっているか確認させてください。

障害サービス課長
　こちらも、もちろん一緒に考え、準備する、後ろの準備ももちろん職員も含めていろいろな体験の場、勉強や経験を繰り返す、そういった準備をするのは職員も一緒だと思っていますので、後ろにも一緒にというのは係ると我々は考えております。
谷口委員
　そうであるならば、より皆様の意図を表現できるように、一緒に考え、一緒に準備をする場ですと、このようにしたほうが、より皆様の思いがストレートに伝わるのではないかなと思うのですが、いかがでしょうか。
障害サービス課長
　今委員の指摘は、より丁寧に説明を入れるという指摘かと思いますので、私も今の委員の指摘を踏まえて検討していきたいと考えております。
谷口委員
　ぜひ検討をしていただきたいと思います。より皆様の思いが伝わるような表現にしていただくことを改めて要望して、私の質問を終わります。